

# Library Information of NUT

NO.10 (2005.10)

## 附属図書館の役割 ～附属図書館長就任挨拶～

附属図書館長 赤羽 正志



この9月16日付で西口現副学長の後任として附属図書館長を拝命いたしました。私は十数年前に1年間だけ図書館運営委員を務めたことがあります。その後は一利用者として外から図書館を眺めてきただけです。そのころと比べて図書館業務は多様化され、また、電子ジャーナルに代表されるように多くの業務が電子化され、隔世の感があります。うかつにも最近ようやく知ったのですが、図書館事務組織の名称もこの4月に図書課から学術情報課に変わっていました。このような私が図書館の管理・運営の一端を担うことになりました。

本学の図書館の果たすべき役割の第一は利用者、特に教職員、学生が必要とする学術情報を、敏速に提供することです。この点に関しては、歴代の附属図書館長、図書館運営委員、学術情報課の職員など関係各位のご努力によって、学術雑誌の多くが電子化され、また、KANON、JDream、SCOPUSといった文献検索のソフトも用意され、ずいぶん便利になりました。今後もこのようなサービスを拡充させていく所存です。

本学の使命の一つである高専との連携について、図書館としても更に発展させていきたいと思っています。ご存じのように、平成11年度より、本学と高専との電子ジャーナル・コンソーシアムをはじめています。来年度、本学図書館は図書館システムの更新期を迎えますが、この機会に高専機構の主導のもと本学図書館と高専図書館との統合型システムの導入を計画しています。

最近、図書館関係者の中で機関リポジトリという言葉が喧伝されています。これは大学などの機関で生み出された学術情報をデジタル情報の形で保管し、その機関で有効に利用するだけでなく、更に外に向かって情報発信するという概念のようです。このような新しい業務にも取り組んでいきたいと思っています。皆様のご理解、ご協力やご支援を宜しくお願いいたします。

(あかはね ただし)



## 附属図書館長退任に際して

副学長 前附属図書館長 西口 郁三

平成15年9月より平成17年9月までの2年間、それ迄図書館事情に全く不慣れで非力な小職が、本学の附属図書館長として、曲がりなりにも大過なく務めさせて戴きました事は、小島学長を中心とする執行部の皆様、図書館運営委員の先生方や学術情報課(平成17年3月迄は図書課)の課長・課員の皆様はじめ学内外の多くの関係者の方々の暖かいご支援・ご協力・ご指導のお蔭であり、茲に衷心より厚く御礼申し上げます。

この間、大学の図書館を取り巻く環境は、学術雑誌費の高騰や図書関連情報の急速な電子化など、急速に変化して参りました。それらに対応して本学では、他の国立大学法人に先んじて「学術雑誌の共通経費化」を実現させると共に、以前より施行しておりました「長岡技科大一高専電子ジャーナルコンソーシアム」をより充実・進展させる事が出来ました。一方、益々厳しくなる学術雑誌費の高騰への対処、博士論文、修士論文や特許をはじめとする貴重な知的財産・情報の散逸や埋没に対する対策、高専機構・高専との連携活動の更なる発展や活性化、急激な情報電子化の進行に伴う図書館スペースの有効利用など、懸案の問題と共に新たな課題も次々に現出し、その早急な解決が求められています。

しかし、時代や情勢が如何に変化しましても、図書館は大学そのものが存在する限り、学術技術情報の集積・整理・保存・管理という極めて重要で不可欠な任務とその責任を持つものであり、今後より一層の業務内容の見直しや改革を行いつつも、益々その存在意義や重要性は増すものと、強く信じております。そのため、本学の教職員諸氏・学生諸兄をはじめ、学内外の関係者の皆様には、今後共、引続き図書館活動・運営に倍旧のより強いご理解・ご支援・ご協力を賜ります様お願い申し上げます。小職の退任のご挨拶とさせていただきます。

(にしぐち いくぞう)

# 一般雑誌コーナー購読希望調査 結果報告

No 雑誌タイトル 得票数 No 雑誌タイトル 得票数

雑誌タイトル 得票数 雑誌タイトル 得票数

NEW

NEW

NEW

NEW

NEW

NEW

## 図書館24時間利用サービスの紹介

図書館24時間利用は、夜間・祝日等の閉館時に研究上、図書館が必要になった場合に入館できるシステムです。自己責任のもとに正しく利用してください。

詳しくは「24時間利用ガイド」(図書館カウンターにあり)を参照ください。

### 【利用者】

大学院生・教職員、利用申請した学部4年生・研究員等

### 【利用申請方法】

- ・ 図書館備付け申請書に記入(指導教員の署名・押印が必要)
- ・ 学生証を持参して、図書館カウンターに申請書を提出
- ・ 提出後1～2日で利用可能になった旨の連絡が届きます

課題研究を行なうB4必見!

## 本学教員著作の寄贈

前回掲載以降、下記の図書を受入しました。ご惠贈ありがとうございました。新たな著作の出版の際には、図書館へ寄贈くださるよう、教員の皆様のご協力をお願い致します。

寄贈者名(敬称略)	書名等	請求記号
上村 靖司(機械系)	新潟県中越地震・雪氷災害調査検討委員会活動報告会	369.31    C61
中出文平・樋口秀(環境・建設系)	中越地震：中山間地域の大規模災害が示す新たな課題	453    N71
野坂 芳雄(化学系)	光科学研究の最前線	425    H57
蓬原 弘一(機械系)	安全システム構築総覧	509.13    A49
	国際安全規格対応「電気安全構築技術」	509.13    A49
	リスクアセスメント実践技術の解説	509.13    A49

## Library Information of NUT

第10号 平成17年10月28日発行

編集・発行 長岡技術科学大学附属図書館 <http://lib.nagaokaut.ac.jp/>

〒940-2188 長岡市上富岡町1603-1 Tel 0258-47-9263 Fax 0258-47-9060

E-mail : [info@lib.nagaokaut.ac.jp](mailto:info@lib.nagaokaut.ac.jp) ぜひ、ご意見・ご感想をお寄せください